

富士見市鶴瀬地域公民館運営審議会議事録

開催日時	平成31年3月19日(火)午後7時00分～午後8時30分
会場	鶴瀬公民館 いきいき活動室
出席者	神木基晴地区議長、山川亜紀子委員、長ヶ原美博委員 伊垣容子委員
事務局	鶴瀬公民館長、同副館長 (合計6名)
欠席者	なし
会議録確認	神木基晴地区議長
公開・非公開	公開(傍聴人 0名)
会議次第	(1) 報告事項 ①年間事業報告について ②施設維持管理面について ③その他 (2) 協議事項 ①平成30年度鶴瀬公民館事業評価について ②公民館カフェについて (3) その他
会議資料	・平成30年度富士見市鶴瀬公民館年間事業報告 ・平成30年度富士見市鶴瀬公民館事業報告兼事業評価 ・鶴瀬公民館公運審カフェの可能性について
会 議 内 容	
<p>○傍聴希望者がいないことを確認。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①年間事業報告について</p> <p>資料に基づき館長より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴瀬公民館は子育て支援事業が充実しており、子育て中の親と子ばかりでなく、その後はサポーターとしての養成講座もあり特徴的。 ・小学生体験事業—バウムクーヘン作りは大変好評で若い世代の親の参加があり、公民館としては大事にしていきたい事業。 ・第33回地域自治シンポジウム—公運審委員の提案により、近年にない形での実施ができた。若い世代の方々の活動が新しい形でまちづくりにつながる。 <p>質問・意見</p> <p>委員：公民館事業は、職員だけでなく、地域住民の協力により成立している。多くの方が関わっているから継続していけるものだと思う。</p> <p>②施設管理面について</p> <p>事務局より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール舞台機構設備改修により 10/9 から 2/28 まで閉鎖していたホールが再開した。 <p>③その他</p> <p>事務局より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/19 消防訓練実施—避難訓練、水消火器、煙体験 41名参加 	

煙体験は初めての実施で、よい経験になったという意見が多かった。
公民館まつりも同日スタートした。(第1回実行委員会)

質疑なし

(2) 協議事項

①平成30年度鶴瀬公民館事業評価について

資料に基づき、担当委員より説明

○子育てサロン—鶴瀬公民館のメインになるような事業でなくてはならないものである。

○家庭教育支援事業—お母さんたちの学びの場

○小学生体験教室—内容に工夫がありよい。

○高齢者サロン—気軽に参加できる場になっている。

○パソコン相談室—高齢の方でも誰でも参加でき、学びの場としてよい。

○市民生活講座—健康スマイル講座は民間医療機関との連携事業で今後も期待される。

○つるせ公民館まつり—公民館活動の参加者にとって発表の場があることは意欲向上につながる。

○サークル公開月間—市民とのコミュニケーションがとれるいい機会となっている。

○子どもフェスティバル—たくさんの人が関わっており市の一大イベントになっている。

○市民大学—学びの場、出会いの場の提供になっている。

○平和・憲法啓発事業

・ピースフェスティバル—平和を考えるよい機会となっている。

・戦争体験を聞く会—生の声をきいてもらうことによって子どもたちへ平和の尊さを伝えるよい機会である。

館長より：公民館で平和事業を行っていくこと＝戦後の地域復興を目的とした拠点として公民館ができた理由の一つである。

○ふじみ青年学級—公民館でなければできない事業。

館長より：ハンデを持った方の学習の機会を保障する＝社会教育の事業の一つ。

○地域自治シンポジウム—今までとは違った形で、おもしろい企画で、今後どうつなげていくか期待する。

○公民館だより—地域住民が情報を入れる手段として一番身近なものになっている。

○利用者懇談会—世代間、地域との交流の場として大切な事業。

質疑・意見

委員：高齢者若い世代へのバトンタッチが難しい。

館長：昔は専業主婦と高齢者が多かったが、その当時の専業主婦が高齢者になっている。

子どものバレエやダンス等の利用者や子どもフェスティバル参加団体などは若い人が多い。その若い世代がどう公民館と関わっていくかが課題である。

※最終的に、館長の総合評価を入れ、「富士見の公民館」としてまとめる。

②公民館カフェについて

・鶴瀬公民館なりのカフェの可能性について館長より資料に基づき説明。

質疑・意見

委員：南畑はまち協が関わっているので、財源確保でき、うまく回っている。

カフェだけだと難しいので、行事と合わせて行うのがよい。

館長：水谷は、委員のペースができてきているので、定期的な開催ができる。
水谷東は、公民館だより編集委員との関わりが活用できるか

委員：キーマンとなる人の存在があるといい。

委員：子育て関係の若い人が入ってくれば、口コミで広がるのではないかと。
まつりでは、喫茶店を出している団体があるので、難しいのではないかと。

委員：子育てサロンのお母さんたちは、集客アップにつながるのではないかと。

委員：活動を終えて動く時間帯に行えば、多くの人の目に留まるのではないかと。
一度に多すぎると、運営が大変になってしまう。

※最終的に、いつできるかについて、子育てサロンに絡めて行うのが現実的ではないかという意見にまとまった。

今後、子育てサロン担当職員に確認をしながら、検討していく。

次回地区会議日程：6月27日（木）19時から

閉会